

令和6年度第1回宮崎県私立学校審議会議事概要

1 日時

令和6年7月3日（水）午前10時から11時まで

2 場所

県庁5号館521号室

3 出席委員（10名）

宮元委員、柳委員、飯田委員、橋口委員、近藤委員、
後藤委員、山下委員、坂本委員、井手脇委員、常盤委員

4 議題

諮問第1号 延岡学園高等学校の学科の廃止について

諮問第2号 宮崎学園高等学校の課程の設置及び収容定員に係る学則の変更について

諮問第3号 日南学園高等学校の学科の廃止及び収容定員に係る学則の変更について

諮問第4号 日本スポーツビジネス専門学校の目的の変更について

5 内容及び審議結果等

(1) 諮問第1号 延岡学園高等学校の学科の廃止について

ア 内容

(ア)設置者：学校法人 延岡学園

(イ)所在地：延岡市大峽町7820番地

(ウ)変更の時期：令和7年4月1日

(エ)廃止の内容

学科の廃止

収容定員（一学年）の変更

商業科 0名→ 廃止（増減なし）

自動車科 0名→ 廃止（増減なし）

総定員 840名→840名（増減なし）

(オ)変更の理由

長年募集停止の措置を講じていたが、今後再開の見込みがないため、学科を廃止する。

イ 主な質疑等

○募集を停止してから年数が経っている理由は何か。

→募集停止した際は、再開の可能性を考えていたが、入学状況を考慮した結果、再開の可能性がないと判断したようである。

ウ 審議結果

適当と認める。

(2) 諮問第2号 宮崎学園高等学校の課程の設置及び収容定員に係る学則の変更について

ア 内容

- (ア) 設置者：学校法人 宮崎学園
 - (イ) 所在地：宮崎市昭和町3番地
 - (ウ) 変更の時期：令和7年4月1日
 - (エ) 課程の設置及び収容定員の変更
 - a 通信制課程 普通科（総収容定員90名）
 - b 通信制課程の設置等に伴う収容定員の変更
- | | | | |
|-------|---------|--------|--------|
| 全日制課程 | | | |
| 特進科 | 360名→ | 330名 | (30名減) |
| 普通科 | 540名→ | 510名 | (30名減) |
| 経営情報科 | 210名→ | 180名 | (30名減) |
| 総定員 | 1,110名→ | 1,020名 | (90名減) |
- 通信制課程（新設）
- | | | | |
|-----|-------|------|------|
| 普通科 | 前年度なし | →90名 | （新設） |
|-----|-------|------|------|
- 総数 増減なし
- (オ) 変更の理由
 - a 宮崎学園高校の全日制課程から他校通信制課程への転学者がある一方、宮崎市には狭域通信制課程を設置する高校が無いことから、通信制課程を新設することで、宮崎市における学びの場の提供や学びの質の確保・向上を図るため。
 - b 通信制課程の設置に伴い、全体の収容定員数を調整するため。

イ 主な質疑等

- 通信制の学校に転学する理由はどんなものが多いか。
→コロナ禍で外出が制限された中でICT教育が進んだことや不登校が増えたことで、一つの選択肢として通信制が増えている。

ウ 審議結果

適当と認める。

(3) 諮問第3号 日南学園高等学校の学科の廃止及び収容定員に係る学則の変更について

ア 内容

- (ア) 設置者：学校法人 日南学園
 - (イ) 所在地：日南市吾田東3丁目5番1号
 - (ウ) 変更の時期：令和8年4月1日
 - (エ) 学科の廃止及び収容定員の変更
- | | | | |
|----------------|-------|------|---------|
| 日南学園高等学校（日南本校） | | | |
| 理数科 | 120名→ | 120名 | （増減なし） |
| 特進科 | 120名→ | 廃止 | （120名減） |

普通科	270名→390名（120名増）
看護科、看護専攻科	200名→200名（増減なし）
調理科	120名→120名（増減なし）
総定員	830名→830名（増減なし）

田野分校

看護科、看護専攻科 400名→0名（400名減）

総数 1, 230名→830名（400名減）

(オ) 変更の理由

- a 特進科の充足率が低い状況であることから、普通科と統合し、さらに普通科の中で、様々な特色あるコースを設置することで、多様なニーズに応える特色ある教育を実施していくため。
- b 少子化の影響により、田野分校の生徒数が定員に満たない状況が続いており、日南本校と統合することで、生徒により充実した学びを提供するため。

イ 主な質疑等

○令和8年度の田野分校の生徒が0になっているが、生徒はどのように移行するのか。また、看護科のうち、日南に行く人は寮に入るのか。

→田野分校は令和7年度までは入学者を募集し、令和8年度から日南本校と統合され、田野分校の生徒は日南本校へと通学することとなる。寮については、宮崎市内から通学している生徒もいるため、令和8年度に向けてこれから検討されるようだ。

ウ 審議結果

適当と認める。

(4) 諮問第4号 日本スポーツビジネス専門学校の目的の変更について

ア 内容

- (ア) 設置者：学校法人 松山学園
- (イ) 所在地：宮崎市旭2丁目1-25 北斗塾第8ビル2階
- (ウ) 変更の時期：令和7年4月1日
- (エ) 目的の変更の内容
商業実務専門課程ビジネス学科を新設
- (オ) 変更の理由
様々な産業分野において人手不足の状況が続き、外国人の労働力が着目されている中、現場のリーダーとなれるような外国人人材の育成を行うため。

イ 主な質疑等

○どこの国から来られているのか。
→アジア圏の方が大部分である。

ウ 審議結果

適当と認める。